

事業番号	事務事業名	畜産業臨時管理費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
03301	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	畜産係	担当者・シート作成者	山崎 壽
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	受精卵移植の推進を図るため、それに供する受精卵を採卵する優良肉用牛の供卵牛の生産育成をすることを目的とし、全国的に優秀な肉用牛の受精卵を購入し、町内酪農家の乳用牛に移植する。生産された子牛は、町で買い取り供卵牛に育成するため、農家に飼育を委託する。	新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けた町内の畜産事業者等の事業継続や活性化を支援するため本事業を推進する。 鏡野町受精卵移植研究会で移植事業を行っているが、優良な供卵牛の協力が得られにくい状況にある。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 畜産農家	ア 畜産農家数(乳用牛、肉用牛、肥育牛)	人	見込 実績			26 24		
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 飼養頭数の維持	ア 飼養頭数(乳用牛、肉用牛、肥育牛)	頭	目標 実績 達成率			749 758 101.2%		#DIV/0!
イ 受精卵移植の推進	イ 受精卵移植研究会による受精卵採卵数	個	目標 実績 達成率			10 10 100.0%		#DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 受精卵購入	ア 受精卵購入数	個	目標 実績 達成率			10 12 120.0%		#DIV/0!
イ 乳用牛への移植	イ 上記の内の移植件数	件	目標 実績 達成率			10 5 50.0%		#DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 04 畜産業費	大事業 01 畜産業臨時管理費	中事業 02	予算上の事業名	事業番号					
							畜産業臨時管理費	03301					
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源			1,400			1,400	一般財源			1,162			1,162
合計			1,400			1,400	合計(A)			1,162			1,162
財源名称				従事正職員人数						1			1
				延べ業務事務時間						80			80
				人件費計(千円)(B)						267			267
	最終予算額		1,400 千円	予算執行率	83.0%	トータルコスト(A+B)				1,429			1,429
主な支出事業内容(予算)	移植手数料			200 千円			主な支出事業内容(決算)	移植手数料			58 千円		
	受精卵購入費用			1,200 千円				受精卵購入費用			1,104 千円		

事業番号	03301	事務事業名	畜産業臨時管理費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 和牛の生産農家の高齢化等により、飼育農家数が減少傾向にある。また、子牛市場は、コロナ禍の影響を受け価格が一時急落したが、現在持ち直してきている。育種価の高い系統の良い牛の価格とそうでない物との差が大きくなっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 受精卵移植による枝肉重量や脂肪交雑の優れている系統の良い牛のET産子は、市場でも高価格で推移されており、受精卵移植研究会による事業推進が行われてきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 高ゲノム育種価供卵牛から採取された受精卵を購入し、移植による産子を供卵牛にするまでには、相当の期間を要すると不満もあるが、達成できた場合の期待も大きい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 農業の振興に繋がるものであり、結び付いている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 畜産業の公益性を有するが、試験的な取り組みであることから町で行うことが望ましい。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 試験的な試みであるが、達成できると繁殖牛飼養農家への経済効果もあり、乳用牛の借り腹をすることから酪農家への経済支援にもなる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 受精卵の移植が成功し、雌牛が生まれる確率は1/4とされているが、実際のところは雌牛0もありうる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 雌牛が生まれた場合は、その後の育成、供卵牛としての見極め等を行うところまでの間は、継続する必要がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 購入受精卵を移植し終わるまでは、現状のまま進める。妊娠し子牛分娩後は、育成の委託先を決めることとなる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 目的達成するまでの最低限必要な予算となっている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 受精卵移植研究会の協力を得ながら、最低限の人数で行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 目的達成後は、鏡野町受精卵移植研究会において公正に運営していただくことから公益性は確保できる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠	
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	受精卵の購入にあたっては、鏡野町受精卵移植研究会の意向を取り入れ順調に行えたが、酪農家への乳用牛への移植においては、分娩後の扱いについて疑義が生じたことや移植対象牛とのタイミングが合わなかったことですべて完了できず、次年度へ持ち越しとなった。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 	
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)	